2026 年度第 1 回市民メンタルヘルス講座　　（横浜市受託事業）

みんなで考えようこころの健康

その人の「生きる」を支える

―精神科医と訪問看護師の対話から―

　声を聴く、待つ、委ねる、を大切にその人の『生きる』を支えるとは？
　対話を中心に訪問診療をする精神科医、星野概念氏とアウトリーチ支援に力を入れる精神科訪問看護師、増子徳幸氏が日頃の臨床、実践を基に対話します。
精神科医療の領域にとどまらず、どの様なお話が展開されるのか、乞うご期待！

日　時：　**2026 年 9 月 26 日（土）**
13：30～16：00（開場 13：00）

会　場：　横浜市健康福祉総合センター4 階ホール
横浜市中区桜木町 1－1　　（裏面参照）

講　師：　**星野概念氏**（精神科医、など）
増子徳幸氏（精神科訪問看護師、訪問看護ステーション Wing）

定　員：　300 名（先着順）　　Zoom　50 名（先着順）

※Zoom で参加希望の方は、9 月 17 日（金）迄に下記要領でお申し込み下さい。
氏名（フリガナ）、E-mail アドレス、電話番号を記載して
浜家連　ysskr@bloom.ocn.ne.jp　までお申し込み下さい。

入場料：　会場、Zoom ともに無料

主　催：　NPO 法人横浜市精神障害者家族連合会（浜家連）
はまかれん

問い合せ：　TEL　045－548－4816　（担当　中居）

― 講師のプロフィール ―

＊星野概念（ほしのがいねん）氏

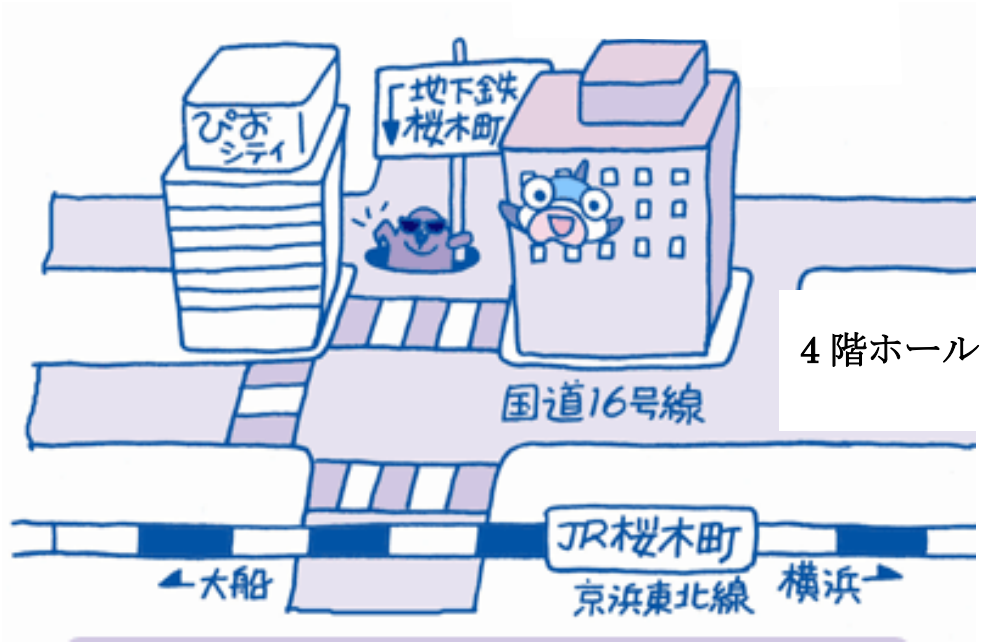
精神科医　など。精神科医として働くかたわら、執筆や音楽活動も行う。いくつかの場所での連載や寄稿のほか、著作もあり。音楽活動はさまざま。著書にいとうせいこう氏との共著『ラブという薬』（2018）、『自由というサプリ』（2019）（ともにリトル・モア）、単著『ないようである、かもしれない～発酵ラブな精神科医の妄言』（2021）（ミシマ社）、『こころをそのまま感じられたら』（2023）（講談社）がある。対話や養生、人がのびのびとできることについて考えている。

＊増子徳幸（ましこのりゆき）氏

精神科訪問看護師。早稲田大学第二文学部卒業、聖路加看護大学看護学部卒業。精神科病院勤務を経て、ACT や精神科訪問看護など地域精神保健の実践に従事。2015 年から横浜で訪問看護ステーションを開設。横浜市保土ケ谷区の「障害者アウトリーチ支援事業」の創設に関わり、現在金沢区でアウトリーチチームのアドバイザーを務める。2024 年に星野概念氏と共にベルギーの精神科医療保健システム改革を視察。利用者・家族との豊富なエピソードを交えながら、「本人とつながり理解すること」「家族が孤立しないために」を大切にした支援について発信している。

会 場 案 内

横浜市健康福祉総合センター



4 階ホール

★横浜市営地下鉄　桜木町駅徒歩 5 分

★ＪＲ京浜東北線　桜木町駅徒歩 3 分